

PRESTO® A40

6リットルの反応器を +20°Cから+100°Cに加熱する

目的

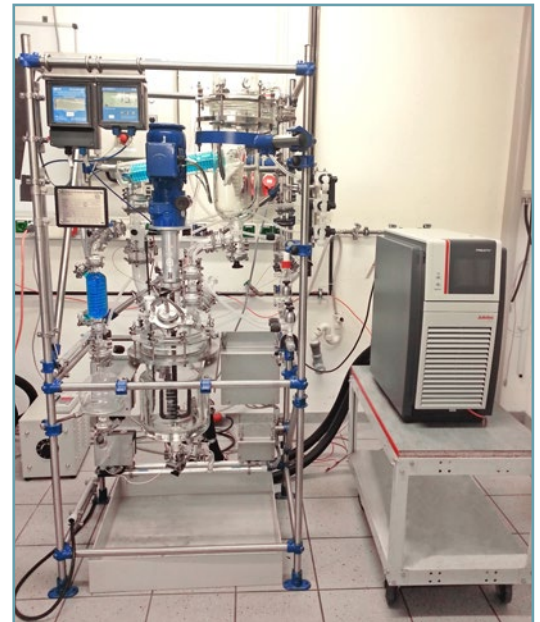
このケーススタディは、6リットルのガラス製反応器でPRESTO® A40の冷却力をテストします。® PRESTO® A40は往復4mの金属配管で反応器に接続されています。® PRESTO® A40は+20°Cから+100°Cに加熱するようにプログラムされています。

環境条件

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

試験条件

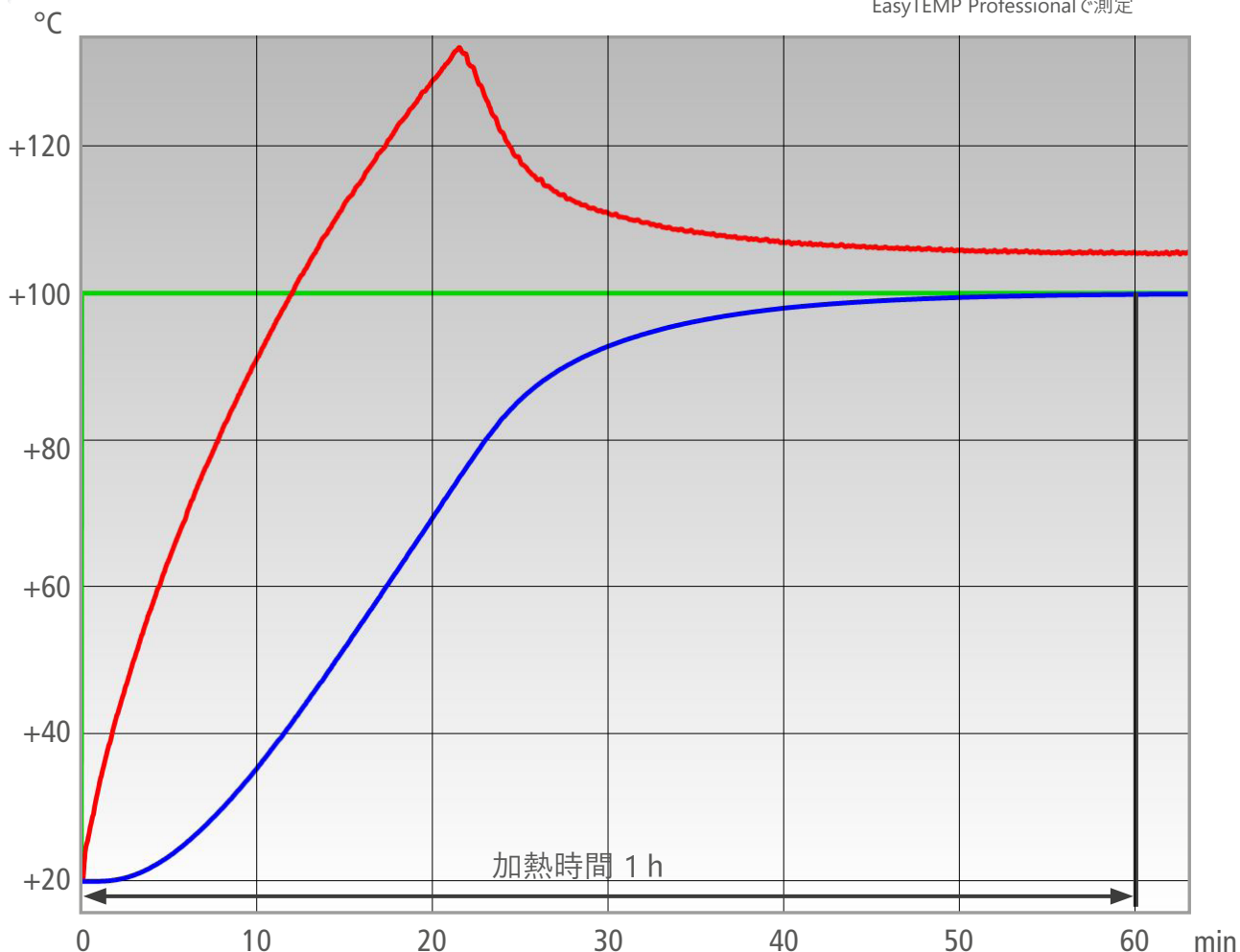
JULABO装置	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
温度制限	未使用
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマルHL60
反応器	6Lガラス容器(QVF) 内容液にサーマルHL60を5L含む
ジャケット容量	4.5 l
制御方法	外部温度制御(ICC)



テスト結果

PRESTO®A40は、オーバーシュートなしで1時間で+20°Cから+100°Cまで加熱します。

EasyTEMP Professionalで測定



- 設定温度
- 反応器内部温度
- 反応器ジャケット温度

ヒント
リアクター保護機能
温度制限機能で
ジャケット部と
内部容器との
温度差を最大値に
設定する事が出来ます。

Profile of reactor

ヒント

無料のEasyTEMP
ソフトウェアを使用して、
PCでユニットを制御
したり、温度曲線を
グラフ化したりできます。

EasyTEMP